震災復興橋梁の計画時の橋名に関する考察
－東京市施工橋梁に着目して－

日大生産工（院）　○埜中 隆晃　日大生産工　五十畑 弘

1 背景と目的

関東大震災による帝都復興事業の街路として東京では復興局施工の幹線街路が 52 路線で延長 119km、東京市施工の補助線街路が 122 路線で延長 139km、区画整理街路は延長 492 ㎞が決定された[1)]。また、土地区画整理事業では国が 15 地区、東京市が 50 地区を施工することとなった。さらに、震災復興橋梁（以下復興橋梁）として 425 橋の橋が架設された。このうち東京市が施工した橋梁は、補助線街路に架かる橋梁（以下補助線街路橋）が 129 橋、区画整理街路に架かる橋梁（以下区画整理街路橋）が 57 橋、改築を行う橋梁が 88 橋、改築的復旧を行う橋梁 36 橋の合計 310 橋である。

補助線街路橋の中で増田淳が設計を行った新架橋 41D 橋、新架橋 42B 橋、新架橋 108A 橋や、区画整理街路橋の伊藤橋（区 60A）、栖原橋（区 60Ｂ）などの橋名は数字・アルファベットで構成された記号により示されており、これまでこの記号が何を意味しているかは明らかではなかった。

行政上、施工対象を整理しわかりやすくすることは重要であり、この意味から、本研究では復興街路の路線番号と土地区画整理地区の地区番号をもとに、計画時に用いた補助線街路橋・区画整理街路橋の記号で表されている橋名が何を示し、どのようにつけられたかを明らかにする。

2 調査方法

本研究では東京都公文書館（以下公文書館）に所蔵されている補助線街路橋に関する約 200 件の公文書と、区画整理街路橋に関する公文書（約 200 本のマイクロフィルム）を対象に調査を行う。

3 補助線街路橋

まず、公文書館に所蔵されている復興橋梁に関する文書がどの程度あるのかを把握するために、公文書館

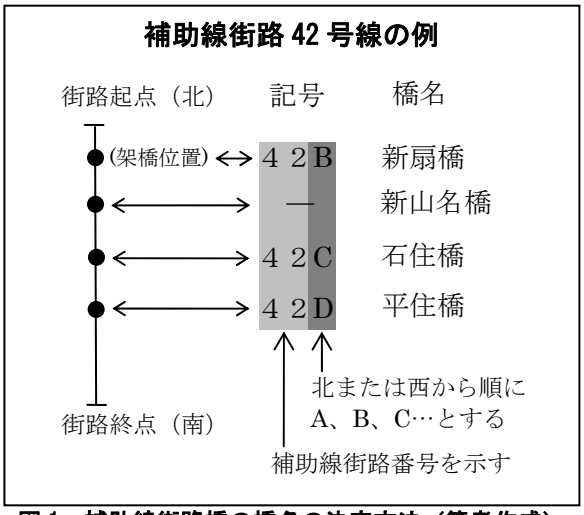

図 1　補助線街路橋の橋名の決定方法（筆者作成）

表 1　本調査により明らかになった補助線街路橋橋名

記号	橋名
17A	新有楽橋
18A	暁橋
22A	賑橋
41D	東富橋
44B	大島橋
59A	新永久橋

記号	橋名
60D	甚兵衛橋
61A	濱洲橋
106B	旅行橋
108A	西竪川橋
115A	汐時橋
117C	宝来橋

記号	橋名
119C	山水橋
119D	美芳橋
119I	千砂橋
120A	木場橋
122A	古石場橋

（42B 新扇橋）

におかれている目録である「震災復興事業文書①～③」より、補助線街路橋に関する公文書のリストを作成した。ここでリストアップされた補助線街路橋は約 100 橋にのぼり、このうち 17 橋（新架橋 41D 橋と新架橋 108A 橋を含む）の橋名は記号のみで表され、37 橋については記号と日本語による正式な橋名をあわせて表記されていることがわかった（例えば、新架橋 42B 橋は新扇橋である）。

つづいて、リストアップされた橋梁の公文書のうち「清平橋（105A）新設工事」と「永喜橋新築工事」の中の街路修築補助路線及橋名図を分析した。この結果、記号の数字は補助線街路番号を示し、記号のアルファベットは、ある補助線街路の区間に架かる橋梁に対して、北あるいは西から順に A、B、C…としていることがわかった（**図 1**）。しかし、補助線街路 42 号線に架

A Study on the Naming of Reconstruction Bridges for Kanto Earthquake
－ Bridges by Tokyo City Government －
Takaaki NONAKA and Hiroshi ISOHATA

かる中之橋や新山名橋などのように計画時に正式な橋名が決定している場合などは、その橋については記号による橋名は与えていない。

以上の分析結果を、記号のみで橋名が示されていた17橋と、その17橋が位置する補助線街路に架かる全補助線街路橋に対して適用することにより、17橋の架橋地点と日本語による橋名を特定することができる。よって、これら17橋の正式な橋名を明らかにするために、まず、補助幹線街路の路線を「帝都復興区画整理誌 第3編 第4巻[2)]」より明らかにし、その上に「深川区詳細図[3)]」を用い架橋位置をプロットした。

これにより特定の街路における補助線街路橋間での位置関係が明確になり橋名を明らかにすることができた（**表1**）。

4 区画整理街路橋

区画整理街路橋の公文書に関する目録は、その内容が詳細なものでないため、直接公文書の内容を調査する。結果、区画整理街路橋の橋名の多くは、伊藤橋（区60A）、栖原橋（区60B）、角兵衛橋（区60C）のように、日本語と記号により示されていた。

ここで、区画整理街路橋の記号中の“区”とは区画整理地区を、続く数字は区画整理地区番号を、また、アルファベットは補助線街路橋同様に、架橋位置に関係するものを意味していると推測しその検証を行う。

まず、現時点で日本語と記号による橋名が明らかになっている区画整理街路橋27橋の中から22橋（**表2**）の位置を、「東京市深川区地籍図[3)]」と「深川区詳細図[4)]」より特定し地図上[5)]にプロットした。その上に「帝都復興区画整理誌 第3編 第4巻[2)]」を用いて区画整理地区を示した（**図2**）。

図2の分析の結果、区画整理街路橋の記号の数字は区画整理地区番号を表していることが明らかとなり、推測の一部が正しいことが分かった。しかし、アルファベットについては現時点では明らかになっていない。

5 まとめ

本研究を行うことにより東京市施工による復興橋梁の架設計画時における橋名が、関係する補助線街路番号・区画整理地区番号を用いていたことが明らかになった。このように計画時の橋名に位置情報を持たせたことにより、事業進行の効率を図ろうとしたと考えられる。また、東京市施工の復興橋梁は復興局よりも多く、これら橋梁に正式な橋名を決定することは時間を要することであったので、この作業は後回しにして、計画時では記号による橋名を用いたと考えられる。事実、42B橋（新扇橋）工事では橋名未決のために橋名鈑の取付けを行うことができず工期が延期された。

今後は、東京市施工復興橋梁における事業執行実務の特徴を契約・入札などの面から明らかにしていく。

表2 区画整理街路橋18橋の橋名

記号	橋名
区55D	平賀橋
区56A	亥之堀橋
区56C	老松橋
区57A	新小橋
区58A	御船橋
区58B	松栄橋
区59A	漣橋
区59C	八幡橋

記号	橋名
区60A	伊東橋
区60B	栖原橋
区60C	角兵衛橋
区60D	武市橋
区60E	富田橋
区60F	海老屋橋
区60I	島田橋
区60Q	豊木橋

記号	橋名
区61A	北新橋
区61B	豊平橋
区61C	新平井橋
区62A	雀橋
区62B	小津橋
区62C	新開橋

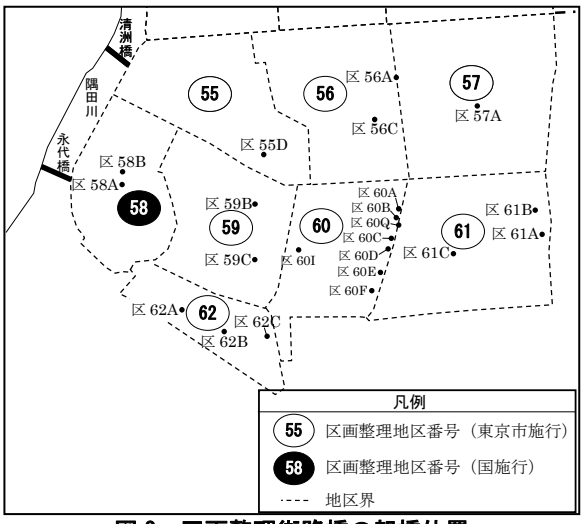

図2 区画整理街路橋の架橋位置
（文献 2）3）4）5）より筆者作成）

参考文献

1）越澤明，復興計画，中央公論新社，(2005)，p69.

2）東京市役所，帝都復興区画整理誌 第3編 各節 第4巻，(1932)．

3）内山模型製図社，東京市深川区地籍図，(1934)．

4）植野録夫，深川区詳細図，東京地形社，(1935)．

5）内山善三郎，帝都復興 東京市全図 復興局 東京市役所原図縮図，(1929)．